

スポーツと環境

今回の学習内容

現代社会では、スポーツは環境にさまざまな形で大きな影響を与えています。たとえば、巨大になったオリンピックや国際的なスポーツ大会では、環境に大きな負荷を与えることもあります。また、スポーツに参加する人が増えることは、一步間違えると環境破壊や自然破壊を引き起こしかねません。ここでは、スポーツが環境と調和しながら、一層発展していくためには、環境の保護に努め、環境に配慮した行動が求められることを学びましょう。

講師
長竹 潤

(学習メモ執筆)

ゲスト講師
武井 壮

壇蜜 先生

スポーツと環境問題

スポーツは人々の関心を集め、大きく発展してきました。一方でスポーツはさまざまな環境問題を引き起こすようになってきました。スポーツが一般の人に広まることは健康や経済に良い影響をもたらしていますが、新たなスポーツ施設の建設など環境に大きな影響を及ぼすこともあります。自然環境が人為的に破壊されることを環境破壊といいます。スポーツの活動やスポーツでの私たちの行動が、騒音やゴミの大量発生、土壌汚染や生態破壊など、自然環境を悪化させたり、破壊したりする問題を引き起こすきっかけとなったこともあることを理解しましょう。

オリンピックなどの国際大会開催と環境問題

オリンピックのような規模の大きい国際的なスポーツ大会では、選手や多くの観客が開催都市に集まります。そうすると、処理能力をこえるほどの大量のごみや生活排水が出て、環境に負荷を与えます。1994年には国際オリンピック委員会（IOC）がオリンピック憲章に「環境」についての項目を追加し、「スポーツ・文化・環境」の3本柱を打ち出しました。

よい地球環境がなくてはスポーツは楽しめません。オリンピックでは、各大会ごとに以下のような環境への取り組みを積極的に行っています。

- 自然エネルギーを競技場やインフラに利用
- グラウンドの散水やトイレに雨水の再利用
- 自然環境（生態系）に配慮したスポーツ施設建設
- 植林や植樹
- 仮設スタンドを利用した既存施設の再利用
- 競技会場でのゴミの分別
- スポーツ用品のリサイクル

これからのスポーツと環境保護

スポーツを行う場所は陸上競技場や体育館、屋外の競技場、プールなどの人工的な場所や、山や川、海などの自然を利用したりするなど、さまざまな場所が使われています。どのようなスポーツであれ、そのいずれもが環境に直接的あるいは間接的に影響を与えています。

スポーツによる環境の汚染や環境破壊を未然に防いだり、改善したりするなど環境の保護に努めるとともに、私たち一人ひとりが環境に配慮した行動をとることが大切です。



ゲスト講師：武井 壮 (たけい・そう) さん

元・陸上十種競技の日本チャンピオン。
 テレビやラジオなどのメディア出演を中心に活躍しつつ、2015年フランスで行われた世界マスターズ陸上の4×100mリレー(M40クラス)で金メダルをとるなど、今もさまざまなスポーツにチャレンジし続け、毎日「自分史上最高」をめざして日々成長を続けている。